

知っ得 なっ得



ライフ & マネ

金太郎 70歳になるおふくろが老人ホームを探そうかなと言っている。いくつから探し始めればいいのか？
得子 そうね、一概には言えないけど、最近では50歳くらいから探し始める人が多いみたい。

金 えっ、そんなに早く？

得 昔はある日突然倒れて、退院の時にどうしようか悩む人が多かった。退院時に自宅に戻れないときもあるから、もしもの時のために早めに考えられないといけない、ということなの。
金 なるほど。自宅に住み続ける、という選択肢もあるわけだね。

得 そう。もしも車いすの状態ですら自宅に戻ったとしても、玄関の出入りや2階への階段などが生活の邪魔になることがあるの。万が一の時に備えてあらかじめ対策をしておけば、それでいい。今は自宅に往診やいろんな介護サービスも訪問してくれるから、こっちはあらかじめ調べとけば、早くに住み替えをしなくてもいいかもしれない。
金 なるほど。でも仮に住み替える

高齢者の住まい ①

自宅か老人ホームか

介護や看取りの希望に応じて

としたら、どこがいいのかなあ。いろいろ種類があるでしょ？

得 「買う」「借りる」「利用す

金 どういうこと？

得 「買う」「は、レストランなどの



イラスト・深川直美

サービスが付いたシニア向けの分譲マンションで、「借りる」は、サービス付き高齢者向け住宅やシニア向け賃貸住宅。そして、「利用する」は、主に民間の有料老人ホーム。これが住み替えるパターンの三つ！
今日は昔からある「有料老人ホーム」の「介護付き」と「住宅型」について説明するね。一番大きな違いは、介護付きはホーム内の顔なじみのスタッフから介護や生活サービスを受ける。そして、住宅型は、原則として外部の介護事業者を自分で選んで、契約してケアを受けるの。数は、住宅型の方が多い。

金 それだけ聞くと、介護付きの方が良さそうだね。

得 いやいや一概には言えないの。介護付きは、顔なじみの関係が作れて、確かに安心感が高い反面、自分で個々のサービスを選べにくいということもある。一方住宅型は、実際に自分で利用したいサービス内容に応じてサービスを受けるので、利用の中身と費

用が分かりやすいとも言えるのよ。
金 そうか、悩むところだね。
得 あと、職員数については介護付きたと、要介護者3人に対し看護・介護職員1人と決まりがあるけど、住宅型はそれぞれ個々のサービスなので、人員配置という考え方はないの。

金 介護付き、住宅型の違いをそれぞれ理解しておいて、どちらが自分に向いているのか、早めに考えておくということだね。

得 そうだね。ただ、介護付きでも住宅型でもこんなことがあるよ。「看取りをする」と言っていたのに、重度になって面倒がみきれず施設を出された、というケース。施設での看取りを希望していたのに、結局、病院で亡くなったケースもある。自分の希望の最期とホームの対応が合っているのかを確認しておくのも大事なことだね。

金 あと、何か注意しておいた方がいいことある？

得 最近の傾向として、ひとり暮らしの高齢者を狙う犯罪や、未曾有の大災害の被災不安などを解消したいと考えて老人ホームに入居する人もいるの。だから、「介護付き」にしても「住宅型」にしても将来入りたと思えるところを自分で見て探して、サービス内容を実際に確認して、早めに選んでおくことが大切と思う。

取材協力・今井紀子さん(有料老人ホーム・介護情報館館長)

(構成・佐藤陽) 全4回